

 <p>市長 長谷川 孝夫</p>	<p>千葉県</p> <p>かがわし 鴨川市</p> <p>活力あふれる健やか交流のまち 鴨川</p> <p>—みんなが集い 守り育む 安らぎ のふるさと—</p>	<p>【データ】</p> <p>※平成 28 年 4 月 1 日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口：34,247 人 ・世帯数：16,131 世帯 ・面積：191.14 k m² ・市の花：菜の花 ・市の木：松 ・特産物：長狭米、鴨川七里（枝豆）
--	---	--

●千葉県鴨川市の紹介

鴨川市は、平成 17 年 2 月 11 日、旧鴨川市と旧天津小湊町の合併により誕生しました。房総半島の南東部、太平洋側に位置し、温暖な気候と美しい海岸線などの自然環境に恵まれているほか、日蓮聖人の生誕地として歴史的にも由緒あるまちです。

また、鴨川シーワールドや鯛の浦、大山千枚田をはじめとする観光名所や旅館・ホテルも整い、首都圏のオアシスとして多くの観光客をお迎えしていることに加え、高度な医療機能を有する大規模な民間病院をはじめ市立国保病院など多くの医療機関が立地しており、人口に対する病床数は県内でも高い水準にあります。介護サービス事業所も多く、充実した医療・介護環境を活かしながら、地域包括ケアの推進に取り組んでいます。

また、総合保健福祉会館（ふれあいセンター）を拠点として、市民参加型の健康づくりや介護予防の推進に取り組んでいます。

さらに、平成 18 年 4 月に城西国際大学観光学部が、平成 24 年 4 月には看護学部を擁する亀田医療大学がそれぞれ開学しており、地域特性に応じた高等教育機関が立地しています。

鴨川市ならではの地域特性と資源を活かし、すべての分野にわたって交流にあふれ、人が元気になるまちづくり、環境と共生するまちづくりを市民との協働のもとに進めています。



〔魚見塚展望台から望む鴨川市〕



〔大山千枚田“棚田の夜まつり”〕

●健康都市への取り組み

本市の最上位計画である第2次鴨川市総合計画では、「交流」「元気」「環境」「協働」「安心」の5つの基本理念を位置付けるとともに、「活力あふれる健やか交流のまち鴨川～みんなが集い 守り育む 安らぎのふるさと～」を将来像として掲げています。その実現に向けて、政策分野別に6つの基本方針を定め、健康福祉分野については「一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち」としています。



また、平成28年度からは、健康福祉を総合的に推進する基本計画である「第2期鴨川市健康福祉推進計画」もスタートしています。第1期計画を踏襲しつつ、「みんなで取り組もう 一人ひとりが輝く『元気』のまち 鴨川」を目標像として掲げ、地域で誰もがいきいきと元気で暮らし続けることができるようにするためには、まずは市民一人ひとりが、自立した生活が送れるようにすること、また、健康づくりの意識を持って自主的な取り組みを行っていただける仕組みづくりが重要となります。そのため、本計画においては、以下の点を本市の健康福祉の基本的な方向性として決めました。

○ 健康寿命の延伸を目指した健康づくり・介護予防意識の醸成

市民一人ひとりが健康意識を持って自主的な健康づくりを行っていただける仕組みづくりに取り組みます



〔ウォーキング〕



〔ロコモ予防体操〕